

2022年5月23日  
南海電気鉄道株式会社

## 車両側面とホームにおける安全確認方法の検証 ～車両側面にカメラを試験的に設置し、その視認性を検証します～

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦）では、中期経営計画「共創140計画」における「公共交通事業のサステナブルな経営」に向けて、この度、列車出発時の車両側面とホームにおける安全確認を行う方法として、車両側面にカメラを試験的に設置し、その視認性を検証します。

具体的には、1両に片側2箇所（両側4箇所）設置したカメラによって、車両側面とホームの状況を録画し、安全上、夜間や悪天候時などにおいても十分な視認性が確保できることを検証するというものです。詳細は以下のとおりです。

### 1. 実施概要

#### (1) 実施時期

2022年6月1日（水）から

#### (2) 車両側面カメラ設置車両・設置箇所

8300系4両1編成（順次拡大する予定）・1両に片側2箇所（両側4箇所）

#### (3) 実施区間

南海線・空港線

※車両側面カメラ設置車両の順次拡大に伴い高野線・泉北高速線でも運用する予定

#### (4) 検証方法

1両に片側2箇所（両側4箇所）設置した車両側面カメラにおいて、車両側面とホームの状況を録画し、安全上、夜間や悪天候時などの低照度下においても十分な視認性を確保できると、明暗差がある環境下でも鮮明に映すことができることを検証します。

※カメラの設置箇所と撮影範囲については、別紙をご参照ください。

#### (5) 備考

本検証実施期間中においても乗務員が従来通りの方法でホームにおける安全確認を行います。

### 2. 今後の計画

検証結果を踏まえ、今後の導入計画を検討します。

### 3. その他

列車出発時の安全確認を検証する目的で録画するもので、特定の個人を識別するためのものではありません。

以上

南海グループでは、SDGsへの取組を強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。今回の取組は、9番、11番に繋がるものです。



## 車両側面カメラの設置箇所・撮影範囲



車両側面カメラ



車両側面カメラの撮影範囲

